

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko 国際文化研究専攻修了 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』

## この号の内容

- 1 コロナウイルス、ロックダウン中、オンラインで最も検索されたレシピ
- 2 コロナウイルス、自宅待機中に世界で最も調理されたレシピ
- 3 EU 支部だより—日常が戻りつつあるイタリア—

・ホームシェフ  
・レシピ  
・パンと小麦粉



・移動解禁  
・テーブルセッティング減税  
・14 日間の自宅待機



## Coronavirus, ecco le ricette più cercate online in quarantena コロナウイルス、ロックダウン中、オンラインで最も検索されたレシピ

もともと料理好きのイタリア人だが、今回のロックダウン中、さらに自宅で料理を楽しんだ人が急増。そんなホームシェフが、最も検索した言葉はなんだろうか。それはズバリ、「レシピ」(google トレンドの調査)。テレビでのジュゼッペコンテ首相のロックダウン実施スピーチの直後から急激に伸び始め、3月14日にはピークに達した。最も多く検索した州は、マルケ、ピエモンテ、エミリアロマーニャ、リグーリア。中でも、最も検索された単語は、「甘いレシピ」「パスタレシピ」「クイックレシピ」「ケーキレシピ」。3月19日の父の日をきっかけに、「ゼップポール」(揚げボール サルデーニャのお菓子)という単語の検索も増加している。(italiaonline in Italia 訳 松原)

## Dalla torta mimosa in Italia al pane dei nativi americani negli USA, i piatti più popolari su Pinterest durante il lockdown

### コロナウイルス、自宅待機中に世界で最も調理されたレシピ、 イタリアのミモザケーキからアメリカのネイティブアメリカンのパンまで、ロックダウン中に Pinterest で最も人気のある料理

今回の自宅待機中、家で過ごす方のひとつとして、ホームシェフが急増。自宅で思い思いに料理を楽しんでいる。それぞれの国ごとに料理の好みにも違いがあるが、各国のホームシェフ、実は、国を超えての共通点がみられるというのだ。ピンボード風の写真共有ウェブサイトで人気の Pinterest によるグローバルトレンド最新レポートによると、それは、「パン作り」と「小麦粉ベースのデザート作り」。さらに、ユーザーが最も検索し保存したレシピも明らかになった。では、自宅待機の最初の月で最も検索数の多かった料理を国ごとにご紹介しよう。

イタリア: タラリとミモザのケーキ ドイツ: パン棒とガーリックブレッド イギリス: オートミールのレシピと卵なしケーキのレシピ スペイン: 自家製チュロスとクレームブリュレ フランス: 日本の牛乳パンと「桃の花のレシピ」 トルコ: バナナブレッドとグラノーラ アルジェリア: イチゴのケーキとバグフルル(クレープ) 南アフリカ: イーストフリーのナンパンとマカロニ インド: palak kofta (ほうれん草のポール) と purn poli (甘いフラッドブレッド) 日本: 揚げレンコンのレシピ インドネシア: ルーソン(乾燥肉料理)とポテトドーナツ オーストラリア: ダンパーパンとカレーソーセージ ニュージーランド: スコーンとリンゴのクランブル カナダ: アスパラガスのパスタとハムのレシピ アメリカ: フライブレッドと牛ひき肉のパイ メキシコ: aguachile (エビ料理) とマグロ缶詰のレシピ ブラジル: チキンパイとイワシ缶詰のレシピ アルゼンチン: 甘いパンケーキとクロワッサン (monrif.net srl 訳 松原)

## EU 支部だより —日常が戻りつつあるイタリア—

ヨーロッパで最も早く国境閉鎖解除を行ったイタリア。6月3日からはイタリア全土移動解禁に加えて、国境封鎖を解除し、欧州からの入国者については14日間の隔離制限も撤廃された。スーパーの入店時におけるマスク着用と手の消毒は引き続き行われているが、ロックダウン中の入店待ちの長い行列は嘘のように解消された。レストランやバーでは屋外でのテーブルセッティング減税もあり、外食を楽しむ人たちが一気ににぎわいを取り戻している。屋外で食事を楽しみ、屋外で映画を鑑賞するのが今年のイタリアの夏を楽しむスタイルのひとつになりそうだ。

私の夫も長くイタリアに足止めとなっていたが、今回、日本への再入国が可能となり、約半年ぶりで帰国する。その準備として、まず、イタリア国内にてウイルス検査を、唾液と鼻腔と血液で行った。日本到着後は、空港内で再度、唾液または鼻腔での検査が行われる。その結果、異状なしとなった場合、自宅に戻ることができるのだ。しかし、その際も自家用車かレンタカー以外の交通手段は利用できない。さらに、14日間の自宅待機が義務付けられている。帰国後もしばらくは不自由が続くがそれも致し方ない。私たちの日常がもどるのは、もう少し先のような。(松原)